

施政概要(案)

平成24年第3回(9月)定例会

四街道市

※ 予定行事等が含まれていることや8月29日時点の内容である
ことから、今後の状況により、内容が変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、平成24年第3回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議の上、ご認定くださるようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組についてでございますが、新たな総合計画の策定については、新総合計画策定本部において、専門部会を設置し、基本構想案作成に向けた調査・検討を進めているところです。また、充実した市民参加を図るため、昨年度に引き続き、ワークショップとして、まちづくり市民会議を8月までに3回開催し、参加いただいた市民の方々にまちづくりの方向性や市の課題解決に向けた方策を検討していただいているところです。

なお、基本構想の策定とその位置付けを明確にするため、制定を目指して市民参加手続を行ってまいりました基本構想条例については、5月に実施した市民参加条例に規定する審議会等手続及び6月に実施した意見提出手続の結果を受け、本定例会に議案として提案させていただいています。

行財政改革については、第7次行財政改革推進計画の策定に向け、行財政改革推進本部の下、現計画の達成状況の把握を進めるとともに、新たな改革項目設定のための調査・検討を行うなど、策定作業を進めています。

ごみ処理施設については、佐倉市、酒々井町清掃組合への加入に関し、本年度中に結論を出すべく、引き続き清掃組合との協議を行ってまいります。

8月11日に市内で発生しました豪雨による市内での主な被害状況については、旭ヶ丘4丁目地先において道路の損傷が、また、山梨地先において道路法面の一部崩落が生じたほか、住居への床下浸水14棟、道路冠水10か所などとなりました。なお、この豪雨に伴う人的被害はありませんでした。

また、時間積算雨量は、14時から17時までの3時間で85.5mm、15時から16時までの1時間で72.5mmを記録しました。

今回の被害を踏まえ、被害箇所への効果的な改修と都市型災害への対策のより一層の向上を十分検討してまいります。

続きまして、主要施策の概要について申し上げます。

【分野別の施策】

「教育と文化が花開くまち」の分野でございますが、学校教育については、教職員の資質向上を目的として、道徳教育研修会や武道必修化に伴う体育実技（柔道）研修会などを開催しました。

また、児童通学路の安全確保のため、7月から8月にかけて、保護者や地域住民の方々、四街道警察署、市の関係課が参集し、通学路の緊急合同点検を実施しました。今後、この点検結果をもとに、必要な対応策を講じてまいります。

学校施設の整備・充実では、栗山小学校の建設事業において、既設校舎（普通教室棟）の解体工事及び仮設校舎の建設工事を進めています。

体育館の耐震化では、栗山小学校の耐震補強工事を進めるほか、大日小学校、八木原小学校及び旭中学校においては、設計業務が完了し、工事発注に向けて、準備を進めています。

図書館の整備・サービスの充実では、利用者の利便性の向上を図るため、インターネットによる図書予約の10月からの開始に向けて、諸準備を進めています。

生涯スポーツについては、7月に本市を主会場として、「第63回印旛郡市民体育大会」が開催され、文化センターで行われた総合開会式では、多くの市民のご参加をいただきました。なお、本市は15競技、23種目に選手、役員を派遣し、5種目に優勝、総合4位の成績を収めました。

スポーツ施設関係では、6月末に鹿放ヶ丘地先多目的スポーツ広場の用地測量が完了し、現在フェンス設置工事等の発注に向けて、諸準備を進めています。

「環境との共生を進めるまち」の分野でございますが、環境保全・衛生については、平成26年度からの環境政策の目標指針となる「第2次環境基本計画」の策定に向けて、8月に環境審議会を開催するとともに、計画策定支援業務を委託するなど、25年度内の策定を目指して作業を進めています。

霊園事業では、(仮称)合葬式墓地合同埋蔵墓の整備に向け、設計業務を委託しました。

「ゆとりと安全を実感できるまち」の分野でございますが、生活基盤については、排水対策として、大日緑ヶ丘74号線及び大日萱橋台19号線の排水溝整備工事を発注しました。

水道事業では、安全性と安定した給水を確保するため、吉岡地先ほか5か所において、老朽管の更新などの配水改善工事を発注しました。

防災・安全については、災害時に備え、迅速な防災活動を可能にするため、

多数の関係機関や市民の参加を得て、9月1日に中央公園で総合防災訓練を実施しました。当日は、警察や自衛隊などの各機関の連携確認や市民参加による初期消火、応急救護及び土嚢作製などの訓練を行いました。

消防体制の充実・強化では、消防署配置の高規格救急自動車及び消防団第15分団配置の消防ポンプ自動車の購入契約を締結するなど、更新に向けた準備を進めています。

消防団については、6月30日に第32回印旛支部消防操法大会が印西市で開催され、本市を代表して小型ポンプの部に第17分団が、ポンプ車の部に第2分団がそれぞれ出場し、日頃の訓練の成果を発揮し、第2分団の2名が最優秀個人賞を受賞しました。

防犯体制の整備では、多発するひったくり犯罪の抑止を目的に、千葉県のひったくり防止対策事業の助成を受け、市内主要幹線道路を中心に防犯カメラを設置するため、関係機関と協議を図りながら諸準備を進めています。

「生涯安心して暮らせるまち」の分野でございますが、保健医療については、予防接種実施規則等の改正に伴い、本年9月1日よりポリオワクチンの定期接種を生ワクチンから不活化ワクチンに一斉に切り替えました。また、ワクチンの切替えに伴い、接種方法を保健センターでの集団接種から、かかりつけ医等による個別接種に変更しました。

地域福祉については、事業仕分けの結果を受けた対応方針を踏まえ、国民保養センター鹿島荘の平成26年度以降の在り方について、庁内での検討を進めています。

また、子ども・若者育成支援では、社会生活を円滑に営む上での困難を有する若者のための支援機関について取りまとめた「若者支援ガイドブック」の作成を進めています。今後は、市民や福祉団体などに周知を図ってまいります。

子ども家庭福祉については、子ども医療費助成の所得制限の撤廃及び自己負担金の統一並びに小学校4年生から中学校3年生までの通院分についての償還払いによる助成拡大を8月から実施しました。なお、受給券による現物給付を12月から開始するため、諸準備を進めています。

障害者福祉については、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が本年10月1日に施行されることから、同法に基づき、市障害者支援課が障害者虐待に関する通報や届出の受理をはじめ、相談、指導、助言、虐待防止の啓発を行う障害者虐待防止センターの機能を担うための諸準備を進めています。

「活力と魅力が躍動するまち」の分野でございますが、道路・交通について

は、交通の円滑化と安全確保のため、向井物井線ほか3路線の舗装修繕工事を、また、和良比山梨2号線ほか3路線の道路改良工事を発注しました。

都市計画道路の整備では、3・3・1号山梨白井線の整備に向けて、用地取得並びに橋梁詳細設計及び地質調査を進めています。

また、3・4・20号物井1号線及び7・6・21号物井2号線については、引き続き、物井特定土地区画整理事業の進捗に合わせ、道路築造工事を進めています。

公共交通関係では、7月に地域公共交通会議を開催したところであり、ヨッピーについて、利用状況に応じた効率的な運行を図るとともに、現行ルートに近接する公共交通空白地域の解消を進めるため、右回りルートの東関東自動車道以北の運行区間を大作岡地区に振り替えること、利便性向上の観点から四街道駅北口への乗り入れを行うこと、さらに、民間路線バス利用者との運賃負担の公平性の観点から、運賃を現行の100円から160円均一に改定することなど、運行方法の変更の了承を得ました。今後、大作岡地区のバス回転広場整備工事を行うなど、新たな運行方法の本年度末の実施に向け、関係機関等と準備を進めてまいります。

また、地元地区及びバス事業者と協議を進めてまいりました大日畔田台地区への路線バスについては、地区住民自らが利用促進を図り、将来にわたって路線を確保・維持していくことを目的に、「畔田台区バス運行パートナーシップ基本協定」を締結し、8月28日から運行が開始されたところです。

市街地形成については、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、保留地購入に先立ち不動産鑑定評価委託を実施し、不動産鑑定評価書が提出されたことから、鹿渡南部土地区画整理組合と保留地購入に向けた協議を行ってまいります。

農林業については、国の「農地・水保全管理支払交付金」制度を活用する活動組織が市と「農地・水・環境保全管理協定」を締結し、千葉県農地・水保全管理協議会へ採択申請等の手続を実施しています。採択後は、各活動組織が行う農地等の保全と質的向上に関する地域ぐるみの共同活動を支援してまいります。

「市民協働で歩むまち」の分野でございますが、市民参加については、市民団体が暮らしの中で生まれるアイデアあふれた事業を提案し、市と協力して事業を実施することで地域課題や行政課題の解決を図るとともに、開かれた魅力ある地域づくりを实践する「四街道市みんなで地域づくり事業提案制度」を創設いたします。

なお、事業実施に係る財源については、制度の趣旨を踏まえ、市民や団体、

企業等からも幅広くご協力願う形態とすることが望ましいと考えています。このため、寄附金を募りながら基金を造成する「四街道市みんなで地域づくり事業基金」の設置に向け、条例案を本定例会に議案として提案させていただいています。

また、8月25日に、関係団体の協力・連携の下、中央公園及び桜通りを会場に「第23回四街道ふるさとまつり」を開催しました。昨年度に引き続き1日間の開催となりましたが、多くの市民の皆様のご来場をいただき、盛況裏に終了しました。

行財政改革については、8月5日に文化センターにおいて、事業仕分けを実施し、3会場で159人が傍聴する中、22事業の仕分けと市民評価人41人による判定が行われました。今後、この結果を参考に各事業の在り方を検証し、市の対応方針を決定してまいります。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年9月3日

四街道市長 佐 渡 斉